

きんもくせい

平成25年 学校教育だより

March **3** 第316号

(年4回発行)

編集・きんもくせい編集委員会

発行・埼玉県富士見市教育委員会

電話・049-251-2711 (内線622)

編集目標 人間尊重の教育を求めて



1年生を招待しての『お宝フェスティバル』

写真提供/水谷東小学校

前進

ふじみ野小学校 六年

森田 香歩

卒業したら

きっと会えなくなる

あの大好きな友達と

あの大切な友達と

楽しかった思い出が

今よみ返る

いっしょに笑った日々

いっしょに泣いた日々

たくさんの思い出

それが私を支える

だからさみしくない

そして私は前へ進む

英語でコミュニケーションする力の基礎作り

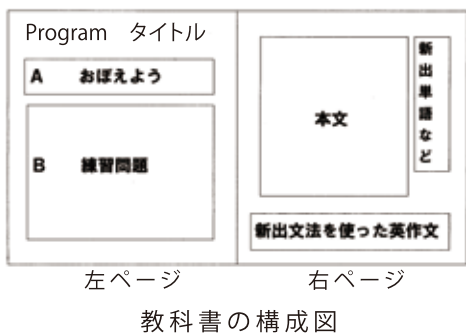
授業で扱う内容や指導目標などが示された学習指導要領の改訂に伴い、教科書の内容や構成、学習量が一新され、中学校では、今年度から改訂版の教科書を使って授業が進められています。英語では中学校三年間で習う単語数が大幅に増え、文法項目も追加され、英文の構造や内容が今までより難しくなっているところもあります。また、「使える英語を意識した言語活動のページや実際に使われている英語の口語表現も増えています。

英語を理解(聞いてわかる・読んでわかる)し、英語で表現する(話す・書く)力を身につけさせるため、小学校での音声の知識を十分に活用し、授業を行っています。最終的には、将来、英語でコミュニケーションする力に発展させるための基礎作りが目標です。授業にきちんと参加すれば、英語によるコミュニケーション能力は十分に身につけられます。

ここでは、「サンシャイン」(開隆堂出版)の教科書を使った授業の流れの一例を紹介します。

文法の学習

改訂された教科書は、次のように二ページ見開きでひとつのセクションを構成しています。



授業では、基本的に左側のページから進めていきます。Aの「おぼえよう」は、このセクションで学習する文法事項が例文で示されています。新しく学習する文法がどのような場面で使われるのか、英文のしくみと共に学習します。Aで学習した知識を、Bにある練習問題で、さらに理解を深めます。新出文法が入った英文を聞きとる問題から始まります。そして、文法の形式を繰り返し学習できる問題へと続き、ペアで会話したり実際に自分のことについて表

西中学校 2年 鷲 若菜



修学旅行では奈良・京都の古き良き文化に触れ、とても勉強になったと共に、楽しい時間を過ごせました。英語の授業で「外国人に話しかけよう！」という課題があり、私の班は積極的に英語で話しかけました。

「一緒に写真を撮ってください。」と言っても嫌な顔

修学旅行の思い出

一つせず「もちろん！」と言ってくれました。皆さんとても優しくて明るいのが印象的でした。アメリカ・ロシア・中国と色々な国の人と触れあうことができ、もっとたくさんの外国の人が日本に来てくれたらいいなと思いました。修学旅行は何年経っても忘れることの出来ない、心に残る思い出となりました。



現したりする問題などへと続きます。ここまでの新しい文法の紹介までが一時間の授業です。

本文の内容

次の時間から本文の内容に入ります。本文の内容理解の順序は、基本的に英文を聞き取ることから始め、徐々に文字に移るようにしています。

具体的には、

①教師は紙芝居のような絵を使いながら、今まで学習してきたわかりやすい英文で場面の説明をします。生徒は教科

書を開けずに英文の説明を聞きます。教師からの質問に英語で答えることもあります。

②本文に出てくる新出単語の発音や意味を単語カードを使い、紹介します。

③本文に出てくる新出文法を使った英文が聞けたり、英文を作れたりするか、クラス全体で確認します。

④説明がひと通り終わると、絵を見ながら本文すべての内容をCDで聞き取ります。

ここまで音声だけで内容を大まかにつかんだところで、初めて教科書を開きます。

わかる授業

教科書で「使える英語」

特別支援教育

笑顔いっぱいの新春コンサート

富士見特別支援学校教諭 小林 明日香

一月十日(木)富士見特別支援学校では、「新春コンサート」が行われました。ゲストは、今年で三回目となる「つながりあそび・うた研究所」所長の二本松はじめさんこと通称「じかりん」とその仲間達でした。

PTAとの合同開催となり、保護者も交えてのコンサートだったので、例年より更に会場内は活気に溢れていました。「おはよう」の歌から始まり、誕生日の歌を歌ったり、電車ごっこ遊びで、みんなでつなごったり、音楽の授業で覚えた「晴れた日には」のダンスを踊ったり、だるまさんが転んだ遊びをしたり……。最後は「夢わかば」の歌でしつとりと

⑤本文の文字を指で追いつながり、もう一度CDを聞きます。
⑥新出単語のカードを使って、生徒一人ひとりの発音を確認します。
⑦本文の音読練習に入ります。このとき、日本語と英語の語順に注目させるために、英文を小さな意味のまとまり(チャンク)に区切り、説明や意味を日本語で確認してから、教師のあとについて発音します。こうすると、生徒は、意味をまず日本語で理解してから、チャンクの部分を英語にすることができず、意味

がわからない英語を繰り返しても何も学習できません。チャンクを徐々につなげていき、最終的に長い英文を一気に発音できるように、様々な手法を織り交ぜながら音読練習を繰り返します。チャンクをつなげる音読で、英文の語順を理解していきます。

本文の発音ができるように

コミュニケーションの練習

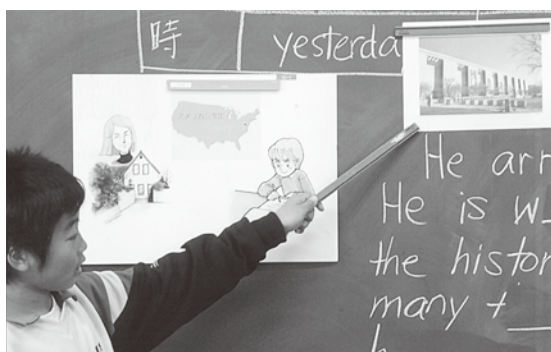
なったら、コミュニケーションのできる練習へとつなげていきます。内容説明で教師が使った絵を、今度は生徒が英語で終わる。時間が過ぎるのがあつという間で、子ども達だけではなく、保護者の方や教師も一緒に楽しめたコンサートだったので、子ども達も嬉しそうに笑顔をたくさん見ることができた。素敵なコンサートでした。

このコンサートでは「静」の部分と「動」の部分がうまく組み合わさっていて、子ども達の心を常に惹きつけているのが感じられました。そんな二本松さんのやり方をぜひ見習いたいと思いました。

で説明をする番です。

教師が黒板に本文を応用した英文を書きます。教科書の本文そのままか、一部変えたものですから、生徒が自力で発音できるものばかりです。発音練習の後、単語の一部が消され、消された単語を補いながら、生徒はクラスの前に出て、絵を指しながら発表します。

一年生の三学期にはAET



(英語指導助手)からのあいづち表現やアドリブ質問に英語で答えながら説明できるようにします。この活動が、将来英語でコミュニケーションできる素地作りとなつていきます。そして、セクションのまとめとして、教科書の「おぼえよ

う」の英文と新出単語の書き取り練習をし、次の時間にテストします。

「英語がわかる・できるよくなる」ためには、自分で勉強しようとする力が実は一番大切なのです。授業ではその興味がわくように、手助けをしています。「授業を大切に↓復習をたくさん↓将来も英語を勉強したい」というサイクル作りをいっしょに目指しましょう。

英語がわかる・できるよくなるために
勝瀬中学校校長 天野豪雄

外国語(英語)の目標は、小学校の外国語活動で育まれた素地をもとに「英語を通して……積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う」である。この目標を達成するために石川教諭は、授業での当り前、家庭での当り前を繰り返し指導している。この指導を通して、英語好きな生徒が増え、学力向上につながることを期待する。

子どもを信じて見守る

つるせ台小学校PTA副会長 上地 祐喜子

先日、近くの公園で自転車に乗る練習をする親子を見かけました。親が子どもの自転車の後ろを支え、子どもがヨタヨタしながらペダルをこぐ姿は、懐かしく微笑ましい光景でした。

子どもは、親が支えてくれていることを背中に感じながら夢中でペダルをこぎ、親は子どもに気づかれないようにそっと手を離す、という一連の動きは、自転車を練習する時には必ずとる方法だと思いません。その光景を眺めながらふと思ったのが「これって、子育てにも当てはまるなあ。」ということでした。

子どもがとても小さい頃は、親の手助けがとても大切ですが、成長し自我が目覚めてきたら、親も勇気を持ってその支えを放して、見守ることが大事なのではないかと思うのです。

失敗もするでしょうし、痛い思いもするでしょう。でも、その痛みや苦しさ、恥ずかしさを経験してこそ、子どもは逞しく成長していくのではない



いでしょうか。親が失敗を恐れるあまり、いつまでも手を離さなければ、子どもは自転車には乗れません。子どもに「どんな時も自分の事を見守ってくれている人がいる」という安心感を与えてあげられる親であるべきなのではないかと思うのです。子どもが、転ばないようにと、先回りして道の小石を拾ってあげるのではなく、子どもの持つ力を信じて、頑張っている、その後ろ姿を温かく見守っていてあげられる親で、私はありたいと思います。



考えて食べる子に

みずほ台小学校

本校の五年生は、総合的な学習の時間に「食」に関する学習に取り組んできた。食材を育てることから始め、学校の花壇を利用し、キュウリ、トマト、ナス、ピーマン、ゴーヤ、メロン、大根、白菜、ホウレンソウ、春菊、かぶなどが収穫できた。野菜作りには地域の方をゲストティーチャーとしてお迎えした。そして、収穫した野菜を使って親子クッキングを行った。さら

に、苦手野菜克服メニューを考え、給食センターに提案する活動にも挑戦。給食センターの栄養士の木下さんにアドバイスをいただきながら、家庭とも連携してメニュー作りを行い、一月と三月に合計三回、ピーマンやトマトの克服メニューを実際に給食に出していたことができた。子ども達が正しい食習慣を身につけ、自分の健康を自分で守るために、食に関心を持



ち、考えて食べる力をさらに磨いてくれることを期待している。

はぐくむ

～学校・家庭・地域から～

「生きる力」を武器に、世界を相手に……

関沢小学校PTA会長 鈴木 孝之

先日、仕事で、小・中学生時代によく遊んでいた目黒の駒場東大前駅近くに行くことがあったので、予定より一時間早く着いて、辺りを散歩してみました。

担任の先生との思い出のある遊び場はマクドナルドに変わっていたけれど、ソフトバンクフォークスの大ファンでもあるカレー屋のおじさんは相変わらず元気でした。あの頃僕が見ていた街並みは、多

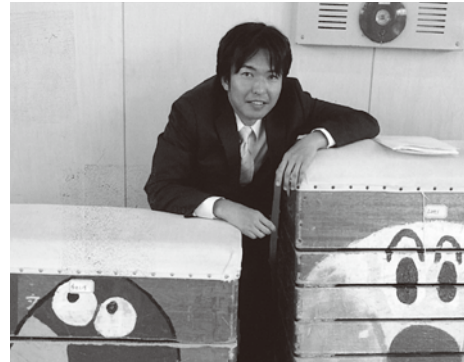
くの面影が残ったままでした。小学校五年生の夏、近所の仲良しコンペイと大学跡地にあった底なし沼までザリガニ釣りに行った時のこと。時間も忘れるほどに夢中になってみると、気づいたら太ももの上まで沼の中に埋まっていた。近くの大人に助けってもらい、やっとのことで抜け出せた時には、おへその辺りまで泥まみれ。それを見つけたらたくなくて塀を登り、家の

二階の窓からこつそり帰ろうとして、滑って屋根から落ちてしまいました。その時にできた手の傷をみるたびに、怒られたくないと必死だったことを思い出します。

そして、今、ディレクターとして世界中を飛び回っているコンペイは、今頃、仕事途中の飛行機の中で、ザリガニに噛まれて、「指がぎれる」と泣き叫んでいたあの頃の経験で身につけた「生きる力」を武器に、世界を相手に活躍しているのでしょう。

父親となった今、子ども達

にも多くの経験をしてもらい、それを温かく見守り、応援していきたいらよいと思っています。



保護者力とPTA活動力

東中学校

周囲をのどかな田園地帯に囲まれた本校は、地域の方々の温かい眼差しに見守られ、教育活動を行っている。特に、本校PTA役員の方々には多くの学校行事にかかわっていただき、生徒の豊かな成長に大きく寄与していただいている。

その好例が、ロードレース大会後の「豚汁」である。秋空の下、全校生徒が保護者や地域の方々の声援を受けて南

畑地区を走り抜く。その後、生徒はもとより、会場に集う保護者や地域の方々に、PTA役員が中心となって調理した「豚汁」が振舞われるのである。会場は豚汁の湯気に一気に包まれ、心も体もほっこりする。おかわりに並ぶ生徒に、盛り付けながら会話をする保護者の表情は、学校・保護者・地域との一体感をまさに表している。

「地域に根差す学校」を学



校経営方針に掲げている本校にとって、ともに活動するPTA活動は、東中の誇れる「よき伝統」のひとつである。

教育課題特集

生きる力を

本当の意味の「コミュニケーション力」とは

英語教育指導助手 (AET)

マリア・カトリーナ・ハラタ

私は平成二十四年四月から、富士見市の中学校のAETとして働いています。私は、この十月月あまりで、AETとして「英語の授業」を生徒のみなさんに、楽しくより分かりやすい内容にできるように、JETと協力して取り組んでいます。そして私も教えることを通して「生徒から学んだこと」や「楽しい経験を共有できたこと」が数多くありました。

私自身も「外国語」を学んだ経験があり、中学生が「英語の学習」に挑戦する苦労や喜びはよくわかります。私は「外国語」を学ぶことの大きな目標は、「会話(Conversation)」の知識や技能を身につけるだけでなく、「意思の疎通(Communication)」の力を身につけることだと思っています。

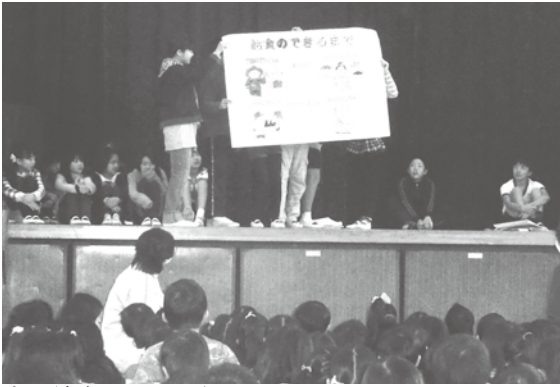
私は、いま外国人として日本に滞在している経験から、グローバル化の進む現代では、外国人との言葉の壁がな

くても、文化や風習の理解がなければ真の意味での理解し合うことは、難しいと感じています。

私は、本当の意味での「コミュニケーション力」は、自ら英語の学習だけに励むのではなく、社会や理科などの様々な教科の学習をバランス良く身につけ、自分で考えて判断し行動できることで、養われると思っています。

(JET＝日本人の英語教師)





全国給食週間の取組

児童朝会で給食委員会が給食クイズを出したり、残菜調べの結果発表と表彰をしたりしました。今後とも、食に関する意識を高めていきます。

諏訪小

平成二十四年度も残すところあと一ヵ月となった。学校では、今年度の学習のまとめや最後の学校行事に取り組んでいる。
総合的な学習の時間では、地域の方々と学校にお招きしてお話をうかがったり、今まで調べてわかったことを発表したりする等の活動を行っている。
体力向上にかかわっては、長縄・短縄の取組を小中学校で行い、この取組を通して学級を一つにまとめている。
中学校では、この季節ならではの学校行事に取り組んでいる。
三月号では、そんな学校の今を紹介したい。



みずほ台小



人にやさしい町・富士見

3年生は、総合的な学習の時間に盲導犬ユーザーの石田さんをお招きしました。盲導犬ウラニアちゃんとの訓練や生活の様子をわかりやすく話していただきました。最後は楽しいふれあいの時間もありました。

勝瀬小



心を一つに 一大縄チャレンジ大会

毎週木曜日の20分休みにピョンピョンタイムとして大縄に取り組んでいます。大縄チャレンジ大会を目指して、休み時間も元気いっぱい練習しています。

水谷東小



自分の命は自分で守る

本校では平成24・25年度市の教育委員会の委嘱を受けて、防災教育に取り組んでいます。家庭・地域と連携して「生き抜く力」をもつ子どもの育成を図っています。

『教育相談Q&A』

II市教育相談室よりII

Q 小六の女子ですが、以前から無気力なところがあり、心配です。四月から中学生になることもあり、「今のままではだめだよ。」と注意していますが、うちがあきません。

A お母さんとすれば元氣付けてあげたくなるのは当然ですが、無気力といっても様々な状態があり、それに応じて対応も異なります。次に無気力の三つのタイプと対応を紹介しますので参考にしてください。

①「落ち込みタイプ」

これは一時的に落ち込み、人間関係に悩んでいる場合が多いものです。対応としては、声かけを積極的に行ったり、話をしっかり聞いたりしてあげることが大切です。

②「エネルギーダウンタイプ」

これは当の本人もなぜ無気力なのかはつきりわからない場合が多く、それゆえ、いつもイライラしており、思春期によく見られるタイプです。

対応としては、無理に声掛けなどの介入をせず、まずは見守り、次の声掛けのタイミングを待つことです。本人の仲の良い従姉に遊びにきてもらったり、先生に頼んで学校の相談員さんやスクールカウンセラーにつなげてもらったりするのもよいでしょう。



東
中

先輩、後輩の前で生き生き発表“東風タイム”

本校では総合的な学習の時間の発表会を『東風タイム』と呼び、各学年生徒の発表を他学年の生徒、保護者が参観します。パワーポイントを駆使する等、各班の創意工夫が光ります。



針
ヶ
谷
小

豊かな交流ができた行事「フェスティバル」

12月に2年生の行事「フェスティバル」を行いました。この日は近隣の2つの保育所から先生と子ども達を招いて、また1年生も招いて、豊かな交流をすることができました。



関
沢
小

校内書き初め大会～応援団の方と一緒に～

体育館いっぱいに書き初め用具を広げて、練習してきた成果を発揮しました。関沢小では応援団の方にも入ってもらい、励ましやアドバイスを頂きながら取り組みました。



勝
瀬
中

一年生のスキー教室

白樺湖隣のスキー場で、白銀の山々に華麗なシュプールを描いてきました。上手くなりました、楽しかった～。



西
中

雪だあー！

新潟県魚沼市の塩沢スキー場にて、スキー林間学校に行ってきました。短いレッスン時間でも、子どもたちの技術の吸収力は素晴しかったです。

おすすめの本



「風をつかまえたウィリアム」さ・え・ら書房
ウィリアム・カムクワンバ＝文
フライアン・ミラー＝文
エリザベス・スーノン＝絵
さくまゆみこ＝訳

アフリカのもっともまずしい国のひとつ
マラウィで生まれ育ったウィリアム少年は、
図書館で出会った1冊の本を読んで、手づくりの
風力発電に挑戦することを決め、実行に移した……
真実の物語。

※中学生以上向け 「風をつかまえた少年 14歳だったぼくはひとり
で風力発電をつくった」(文藝春秋出版)

③「エネルギー切れタイプ」
これは声掛けや励ましですが、かえって
本人を心理的に追い込んでしまう場合
があり、注意が必要です。
対応としては、医療の力が必要にな
っている可能性が高いので、見守るだ
けでは手遅れになってしまいかもしれ
ません。特に睡眠が一週間以上不安定
になっている場合は、医療機関の
受診をおすすめします。
以上ですが、もっと詳しくお知りにな
りたい場合は、本室にご相談してく
ださい。

教育委員会だより

卒業おめでとございませす

今春、1,894名のみなさんが市内の小・中・特別支援学校を卒業します。保護者のみなさまには、お子様の成長を振り返り、感激もひとしおのことでしょう。卒業生のみなさんは、通い慣れた校舎や一緒に過ごした友達との別れにさびしさを感じながらも、これから始まる学校生活に胸をはずませているのではないのでしょうか。新しい場所で、たくさんの人たちとの出会いを通して、広い視野を持った心豊かな人に成長することを願っています。在校生のみなさん、4月からは1学年ずつ進級します。この1年間を振り返り、新しい目標に向かって、たくましく元気に学校生活を送りましょう。

◇平成25年度富士見市立小・中・特別支援学校入学式 期日：4月8日(月) ※2月12日現在

学校名	開式時間	入学予定者数
鶴瀬小学校	10:30	93名
水谷小学校	10:30	75名
南畑小学校	11:00	43名
関沢小学校	11:00	112名
勝瀬小学校	10:40	110名
水谷東小学校	11:00	70名
諏訪小学校	10:50	112名
みずほ台小学校	11:00	88名
針ヶ谷小学校	10:45	55名
ふじみ野小学校	10:45	135名
つるせ台小学校	10:40	89名
富士見特別支援学校	10:20	18名
富士見台中学校	9:30	193名
本郷中学校	9:45	144名
東中学校	9:40	87名
西中学校	9:20	169名
勝瀬中学校	13:30	242名
水谷中学校	9:00	78名



「進級おめでとう。今日から二年生。みんなで力を合わせて、仲良く進んでいきましょう。」
元気で素直な子どもたち

との出会いから、もうすぐ一年。目標に向かって一生懸命取り組む子どもたち。
「先生、ここにポストに、いっぱい議題が入っているよ。」学級会で、いろいろなこ

明日へジャンプ

諏訪小学校教諭

菊地文恵



とを話し合ってきた。楽しい催しやクラスの問題、どんな小さなことも、みんなで見聞を出し合った。
「ここにポスト」という名前も、初めはなかなか決まらなかつたが、話し合いが深まる中で、みんなが楽しく仲間になるようにというめあてに子どもが気づき、たくさん名前の中からめあてにふさわしい名前を決定した。

話し合いの達成感が大きな拍手に表れた。子ども同士の間違った。
「誕生会をしよう。」クラスの誕生日が教室の後ろに掲示されている。それを見て、「おめでとう。」「ありがとう。」という友達を思いやる声が響いた。お手紙担当の子どもたちは、主役のよきを見つけていた。主役の子どもたちは、目をきらきらさせて、将来の夢についてスピーチした。教室は笑顔でいっぱいになった。

もうすぐ、春の訪れ。みんな力を合わせて話し合い、一つ一つ実践してきたことは宝物である。ここに笑顔で、三年生へ大きくジャンプしてほしい。

編集日記

前号の「子どもの居場所」について考えてみたい。昔は、大人がいない場所が自由であり子ども同士で信頼を築いてきた。今の子ども達を考えると、対人不安や人間関係に孤立する不安感が高いとされ、大人が見守る中で安心安全の感覚を育てていくのだということがある。

確かに、言葉が足りないために相手とのコミュニケーションがうまくとれないといったことや体験や経験不足による、自信のなさも今時の子ども達には多く見られる。子ども達は、人に認められたり褒められたり、期待される中で愛されていることを実感できず、安心安全な場所や環境は、学校・家庭・地域で支えあう人とのつながりの中でできる。子ども達が、将来はこの地域に住みたい、こんなことをしていきたいというイメージを持てるのが大事である。私は、子ども達が、共にたくさん遊んだところが心のふるさとになると考える。子どもの「居場所づくり」とは、心のふるさとづくりになるのではないだろうか。そのことが、地域を担う人材となっていくと期待できる。多くの人に「地域子ども教室」にお力をいただきたい。
(忽滑谷)